

SSK

# 群なんねん

群難連機関紙

## 新刊75号

編集人

群馬県難病団体連絡協議会

群馬県前橋市新前橋町13-12  
群馬県社会福祉総合センター内  
〒371-0843 TEL・FAX027-255-0035

《群難連ホームページアドレス》

<http://www.g-nanbyo.server-shared.com/>

## 展望台からの景色は最高！

群難連加盟団体研修交流会 東京スカイツリーへ



年に一度の群難連加盟団体研修交流会。普段あまり交流することがない他の加盟団体の方々とバスでの移動時間を含め貴重な交流の場でもあります。

平成30年度は、開業から7年が経過した自立式電波塔として世界一、建築物としても世界で2番目の高さを誇る東京スカイツリーを訪れました。

### 研修交流会に参加して

膠原病友の会 瀧本理絵子

11月26日(月)『東京スカイツリーへの研修交流会』に県の福祉バスで行ってきました。

なかなか他の患者会の皆さんと交流する機会がないのでとても楽しみにしていました。

天候にも恵まれバスの中で美味しい昼食をいただき、目的地のスカイツリーに到着しました。スカイツリーでは、皆さんと一緒に笑顔で記念写真を撮り、エレベーターに乗って展望台まで

いっきに上がりました。展望台からの景色は、<sup>もや</sup>霧が少しかかっていたのですが、都会のビル群や下を見下ろせばおもちゃの様に小さな街並みや車が見えて目が回るように感じました。

帰りのバスの中では、賑やかな歌声やクイズなど楽しくあつという間に時間が過ぎました。

来年もまた参加したいと思いました。

まだ研修交流会に参加したことのない方は、ぜひ参加してみたいはいかがでしょうか。とても楽しい思い出ができますよ。



隅田川を眼下に



ガラス張りの足元にドキリ!



ソラカラちゃん



展望台にはポストも



#### スカイツリーの高さにはわけがある!?

現在の東京都と埼玉県のほぼ全域に神奈川県の一部を含めた地域の旧国名は武蔵でした。スカイツリーの展望台からは、この武蔵国が一望できます。このことから東京スカイツリーの高さは634 (ムサシ) mとなったのだそうです。

## JPA(一社)日本難病・疾病団体協議会 幹事会(報告)

JPA第26回幹事会が12月2日(日)東京都障害者福祉会館で開催され、全国の難病連、患者団体より38人が出席しました。

森代表幹事より「難病法施行5年以内の見直しに向けて、重症度分類によって不認定となった患者の医療、療養、生活全体への施策を考えていかなくてはならない」など、あいさつがありました。

議事に入り議長を選出。11月1日現在、加盟61団体と準加盟27団体があり構成人数は約26万人との報告でした。

### 1. 情勢報告

- 平成30年8月診療分から70歳以上の診療報酬の改定(60歳以下は現状のまま)
- 介護保険制度の改定  
平成30年8月より「年収340万円以上」という分類が新設となった。2割負担→3割負担
- 身体障害者手帳の様式改定  
手帳所持者の基本的な状態に加え、補装具費の支給状況などを加筆する仕様へ。自治体の選択により、カード化を可能とする方向で問題点も検討
- 難病対策の動きとJPAの対応  
患者本人は診療情報提供書類を持参し、難病診療起点病院の外来を受診し指定難病の追加について相談(申し出)を行う

- 経過措置終了後の特定医療費の支給認定の状況と問題点

平成27年1月1日難病法が施行され、29年12月31日で医療費助成における3年間の経過措置が終了した。重症度分類等により15万人もの患者が医療費助成の対象より外れる事態となった。治療の継続が必要な患者が重症度認定で軽症と判断され、医療費助成を受けられなくなることにより、受診抑制が起こる懸念がある

軽症と判断された患者の臨床個人調査票による研究データの収集に影響が広がる

- その他

難病・慢性疾患全国フォーラム2018などの報告

### 2. 協議事項

- 組織改革について  
加盟・準加盟団体を今後どうしていくか
- 財政強化について
- 第14回総会を今年5月12日(日)に開催し、翌13日(月)に厚生労働省との懇談及び国会請願行動を行う
- 難病の日記念イベントを5月12日(日)に開催する。テーマは「この病気、治る日は必ず 患者・家族の夢を現実に！」

上記の点を確認し、幹事会を終了しました。

## 2018年度 JPA 関東甲越ブロック会議・交流会

JPA関東甲越ブロック会議・交流会が、栃木難病連主催で昨年12月8日(土)宇都宮市ホテルニューイタヤで開催されました。

当日は、研修会を兼ねるということで栃木難病連より61人、山梨難病連1人、茨城難病連2人、群馬難病連3人、の4団体及び厚生労働省より2人、JPAから伊藤参与・事務局員の参加がありました。栃木難病連 平塚会長の挨拶で始まり来賓挨拶、JPA伊藤参与の挨拶がありました。

続いて各県難病連の現状と課題の発表があり、休憩をとりJPA伊藤参与のコーディネートによる厚生労働省健康局難病対策課 竹之内課長補佐、林主査との懇談会を行いました。参加者より、重症度分類による医療費助成や医療提供について、軽症者を含む難病患者のニーズについて、障害福祉

サービス申請時の不認定通知書の活用など、質疑応答がありました。

会議終了後、参加者による懇親会に移り、栃木難病連加盟団体、各県難病連の方々と情報交換する中、来年の開催を確認し終了しました。

〈福田〉



## イオン幸せの黄色いレシート キャンペーン贈呈式

2018年度上期「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」贈呈式が11月6日（火）午前11時より、イオンモール高崎2階イオンホールにて開催されました。

毎月11日のイオン・デーに実施の「イオン黄色いレシートキャンペーン」で群難連のレシートBOXに投函いただいたレシートの合計金額の1%に相当するギフトカードが贈呈されます。

今回は2018年3月～8月に投函されたレシート金額の1%に相当する21,500円のギフトカードが贈呈されました。

贈呈されたギフトカードは、プリンターインク、コピー用紙等事務用品の購入に活用させていただきます。（井田）



## イオン拡大クリーン&グリーン活動

秋晴れの11月11日（日）イオン高崎で、本年も近隣の企業など多くの団体が参加し、ゴミ拾いや草むしりなどクリーン活動を行いました。

受付をし、グループ分け後ゼネラルマネージャーのあいさつと係の方から活動にあたっての説明を受けました。「今年は新しい企画として宝探しを楽しみながら清掃作業を行いたい」との話がありました。企画の一つとして、クリーン活動中にあらかじめ係の方により置かれたボールを見つけることができれば、開催中の

ポップサーカスの入場券等が当たるとのことでした。残念ながら私たちのグループでは見つかることができませんでした。

1時間ほどの作業を終え、回収したごみを分別し、おみやげをいただいて解散しました。

（福田）



## 公明党との意見交換会

平成30年11月12日（月）県社会福祉総合センターにおいて、公明党群馬県本部代表 群馬県議会議員 福重隆浩氏をはじめとした9人の公明党議員団との意見交換会を行いました。群難連からは水沼会長以下4人の役員が出席しました。

冒頭、福重本部長より難病も雇用促進の対象となるようにと激励のあいさつをいただきました。続いて群難連水沼会長がRDD2019世界希少・難治性疾患の日が2月28日に開催されることや、難病法が制定された5月23日が「難病の日」に登録され、群難連でも5月19日に「難病の日」記念のつどいを開催し患者の声を社会に発信していきたいこと、など直近の事業計画を説明し「難病の日」記念のつどいへの党本部代表福重議員のご出席をお願いしました。

出席者の自己紹介のあと、群難連と4加盟団体（リウマチ、膠原病、肝臓病、脊柱靭帯骨化症）の要望事項の説明を行いました。

### <群馬県難病団体連絡協議会>

1. 難病等患者の雇用推進策について
2. 難病等の啓発活動の推進について
3. 難病患者の負担軽減制度について（給付金

制度)

4. 県内公共施設入場料無料化・割引
5. ヘルプマークの導入について

#### <(公社)日本リウマチ友の会 群馬支部>

1. 災害時におけるリウマチ患者・障害者への情報提供と支援対策を講じてください
2. 地域格差の無い医療・介護・福祉等の情報提供を充実させてください
3. 高額なりウマチ治療薬を必要とする患者の自己負担軽減についての要望

#### <全国膠原病友の会群馬県支部>

1. 特定医療費（指定難病）受給者証について
2. 他科受診の際にあっても特定医療費対象にしてください

#### <群馬肝臓友の会>

1. 肝硬変・肝がん患者への医療費助成のお願い
2. ウイルス検診促進のお願い

#### <群馬県脊柱靭帯骨化症友の会>

1. 災害時の『指定避難所』に、ダンボールベッドやエアーマットの常備をお願いします。
- 以上、難病患者の実態を訴え懇談しました。

やすかがわ  
安力川<sup>やすかがわ</sup>渋川市議会議員より「お助けカードや耳マーク、ヘルプマークなど市民への周知が必要となるので、市の広報誌へ掲載したい。条例でも共生社会の実現を目指していきたい」との言葉をいただきました。

最後に福重本部長より「平成19年こども医療費無料化を知事公約として掲げ県主導となって実現した。難病見舞金にあっても35市町村格差を県主導で是正が必要である」と前向きなご意見をいただきました。

30分の短時間でしたが充実した意見交換会を行うことができました。 (大澤)



## 県社会福祉大会（表彰をうけて）

群馬県腎臓病患者連絡協議会 大久保宗平

平成30年群馬県社会福祉大会が11月21日（水）昌賢学園まえばしホールで県内各地から大勢の方々が集まり、「誰もが役割を持ち、活躍できる地域共生社会の実現のために」をテーマに開催されました。

午前は、フォトジャーナリストの安田菜津紀氏から「写真で伝える“今”」と題した講演が行われました。

安田氏は、現在カンボジアを拠点に活動を続けており、「国境なき子どもたち」のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。また、内戦時の地雷で苦しむ方々の実態等、伝えることの大切さについて語られました。

国内では、東日本大震災時に県立高田病院の医療従事者としての活動を続けられた父親のこと。その周辺で起きた想像を絶する出来事を伝えていました。

午後は表彰式が行われ、大澤知事、県議会議長のあいさつをはじめ多くの来賓から祝辞をいただきました。

表彰は各分野で功績のあった多くの方の代表者に賞状が渡されました。なお、小職は団体推薦（群難連）を受けて表彰をしていただきました。

今後も研鑽に努めながら役割をもって活動を続けられるよう努力していきたいと思えます。

最後に大会宣言を採択し終了しました。



## 第5回 療養医療相談会 主治医以外の医師への相談



左から 喜多川先生 久田先生 岡本先生 廣村先生 堀口先生 青木先生

腎臓・リウマチ・膠原病内科 (群馬大学 腎臓・リウマチ内科教授/診療科長)

消化器・肝臓内科 (群馬大学 消化器・肝臓内科/肝疾患センター講師)

呼吸器・アレルギー内科 (群馬大学 呼吸器・アレルギー内科 診療教授)

骨・関節系疾患 (群馬大学 整形外科 助教)

神経内科 (パーキンソン病、重症筋無力症など) 公益財団法人老年病研究所 所長

医療費、自宅療養、今後の生活など、心配ごと相談

廣村桂樹先生

堀口昇男先生

久田剛志先生

喜多川孝欽先生

岡本幸市先生

群馬県医療ソーシャルワーカー協会

青木優一先生

平成30年11月25日(日)午後1時～3時、  
県社会福祉総合センター203AB会議室において各診療科の専門の先生にお願いし開催しました。相談時間は1人20分で15人の患者・ご家族の方が相談に来られました。

腎臓・リウマチ・膠原病内科(4人)、  
消化器・肝臓内科(3人)、呼吸器・アレルギー内科(1人)、骨・関節系疾患(2人)、神経内科(4人)、医療費・自宅療養・今後の生活など・心配ごと相談(1人)

参加された方々のアンケートでは「具体的な相談ができて良かった」「療養生活を頑張ろうという自信が持てた」という前向きなご意見をいただきました。

「療養医療相談会」は毎年1回開催していますが、新年度事業として9月29日(日)東毛地区 太田福祉会館での開催と、今まで通り11月24日(日)県社会福祉総合センターの2カ所での開催を予定しています。専門の先生方に皆さんの相談に丁寧に対応していただきます。主治医以外の医師への相談が出来る機会は大変貴重です。療養生活に不安を抱えている方は是非ご参加下さい。



## 出前「難病よろず相談室」 in 前橋開催

### —相談員勉強の場に早変わりの相談会—

平成30年度3回目となる出前「難病よろず相談室」を12月2日(日)前橋市総合福祉会館で開催しました。



当日は各加盟団体より相談員が資料持参で相談者を待ち受けましたが残念なことに相談者がみえなかったことで、急ぎよ相談員同士の情報交換・勉強会に変更しました。話は会員減少・役員不足、講演会相談会への周知の仕方や会場選び等々、それぞれの患者会が抱える問題と自身が患者の立場での思いを話し合いました。疾病が違うとなかなか理解しあえないことも、ゆっくり話を聞くことができ、活動する中での課題解決のヒントを教えてもらう等、相談員の勉強の場となった出前「難病よろず相談室」でした。

〈ピアサポート委員会〉

## 会員の声

### 日頃感じていること

〈前橋市難病友の会 阿部和正〉

私は退職してから30年になりますが、退職当初に自分の体調をどうしたらよいか考えた結果、町内の人達と一緒に軽スポーツのゲートボールを始めて現在も練習をしています。

グラウンドゴルフも始めて10年になり、今も楽しんでます。しかし、急性腎不全から人工透析を始めて13年になりますが、当初は勉強不足で（食事制限・水分制限等）一喜一憂の毎日でした。今では町内の人達（60歳から90歳）と一緒にピンシャン体操・脳トレ等を毎週1回行い、早や10年になり皆さんとともに参加しています。さらに、病院のリハビリセンターに週2回通っていますが、おかげさまで足腰の調子も体調も特に変わりなく、毎日を健康で元気に過ごしています。私の元気のもと屋外の運動と屋内（公民館等）で皆さんとの交流が続いている事です。

私は5年前から各団体（群難連・前難連・群腎協）の各行事（会議・交流会・総会等）に参加しており、会議等に出席して大変勉強になっています。特に交流会（カラオケ大会・バス旅行等）はストレス解消と親

睦に役に立つ場に適していると感じますので、今後も継続して開催することを希望しています。今後も各団体の行事には積極的に参加して頑張りたいと思っています。

会員の皆さんも各団体の行事に参加することで、新しい自分を発見してみませんか。

## 生きがい

〈パーキンソン病友の会 岩本典子〉

パーキンソン病と診断され5年が経ちました。確実に進行しています。でも研究が進み辛い症状を消し去る薬の誕生を心待ちにしながら病気を受け入れ、今の状態を維持し前向きに過ごしていきたいと思っています。

私には、ある夢がありました。小さなお店を持ち、そこで手作りのパンやケーキを焼き、食べながらおしゃべりに花を咲かせ楽しい時間を過ごせるところ。私は50の手習いで、夢に向かい週1回、技術の習得をするために学校に通い始めました。作っている時の楽しさや、出来上がりの作品に感動してました。

一歩一歩夢に近づいている！ウキウキ気分でした。家計を節約しながら、道具を揃えていきました。

学校に通い7年過ぎた頃、体調に異変を感じていました。でも、日頃の疲れくらいにしか思っていなかったので、ビタミン剤の注射を打ちに医者に通っていました。全く良くならないので検査しました。“パーキンソン病”でした。先生に病気の説明をしてもらいました。そこで友の会を知りました。先生は支部の方に連絡をして手続きの方法等聞いてくださり、すぐ入会しました。先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。会員の皆さんには、前向きに生きる、明るく楽しく笑って過ごすのが何よりの特效薬、そしてリハビリの重要性を教えてもらいました。

それから私の夢は叶いませんでしたが、今は楽しみながら作っています。87歳の母はひとりで外出はできず、最近ベッドに横になっている時間が多くなりました。先日、そんな母と“みかん大福”を作りました。粉だらけになりながら、丸めるのに悪戦苦闘で、でも5個作りました。半分にカットしたその断面の美しいこと、感動しました。母はひとつペロッと食べてしまいました。母の満足気な顔、うれしそうな顔を見て私は幸せでした。お菓子作りをこれからも続けていきます。





## 寄付御礼

東京電力労働組合より10月30日、群難連との懇談会の際に多大なご寄付をいただきました。



萩原浩二執行委員長 (左)

平成30年度賛助会員として群馬県内各支援団体よりご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。(順不同)

- ・ 連合群馬 様
- ・ 群馬県医師会 様
- ・ 群馬県歯科医師会 様
- ・ 群馬県薬剤師会 様
- ・ 群馬県看護協会 様



## 群難連新年会

1月27日(日)に行われた第3回理事会に引き続き新年会を行いました。当日は群難連顧問の中沢丈一先生もご多忙の中お越し下さり、あいさつをいただきました。

会費は1500円。お弁当の後は恒例のビンゴ大会。群難連と役員、群腎協の協力で用意された景品の数々はいったい誰の手に? リーチからなかなか皆上がることが出来ず、番号が読み上げられるたび歓声やため息が。そんななか今年の1等賞を引き当てたのは大澤事務局長でした。

理事会とはまた違う理事役員の顔が見えた和やかなひと時でした。

〈小野〉



# 第1回 「難病の日」記念のつどい

難病患者の悲願であった難病法成立を記念し、5月23日が「難病の日」として登録されました。難病の日をきっかけに、確率は低いものの、国民の誰にでも発症する可能性のある難病について、思いを寄せていただけましたら幸いです。

日 時： **5月19日（日）** 午後1時～3時30分  
(受付12時40分～)  
会 場： 群馬県社会福祉総合センター 8階 大ホール

## <第1部>・オープニング

### 澤田 馨(さわだ かおる)コンサート



～幼少の頃にベーチェット病と診断され、中学2年生のときに視力を失ってしまいましたが、現在は鍼灸・マッサージ師の仕事をしなが  
音楽活動を行い、歌手として活動、さらに社交ダンスにと活躍の場を  
広げています～

## <第2部>・患者会活動の様子を上映



### ・「患者の声を社会へ」



1. ALS協会群馬県支部 板橋さんの発病当初から  
現在の生活、療養や介護の様子を紹介
2. 群難連加盟団体および県内患者会からの声を  
社会へ発信！

- \* 参加費は無料です。
- \* 会場内に加盟団体・協力団体の紹介ブースを設置。
- \* 問い合わせ先

群馬県難病団体連絡協議会 事務局

TEL027-255-0035(平日 10:00～15:00)

アステラス製薬は

“患者会支援活動”に取り組んでいます。

患者会活動を側面から、幅広くお手伝いするため、

2006年4月より社会貢献活動として取り組んでいます。

・公募制活動資金助成 ・ピアサポート研修

詳しくはホームページで！キーワードで検索してください。

アステラス 患者会支援

検索

明日は変えられる。

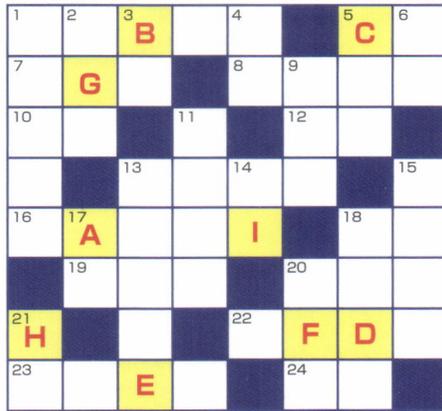
 **astellas**  
アステラス製薬

【お問合せ先】アステラス製薬 患者会支援担当 電話番号 03-3244-5110

[www.astellas.com/jp/](http://www.astellas.com/jp/)

## クロスワードパズル

タテ・ヨコのカギをヒントに空白を埋めて下さい。A～Iの9文字をつなぐと四字熟語が完成されます。



### タテのカギ

- 1.「いづれ菖蒲か——」
- 2.水田に稲の苗を植えること
- 3.物事の終わり。最後。「——のすみか」
- 4.国語・算数・——・社会
- 5.手塚治虫をはじめ著名な漫画家が住んだことで有名なアパート。——荘
- 6.銀閣寺とは対照的にきらびやかな——閣寺
- 9.「身分証明書の——をお願いします」
- 11.幅広い麺が特徴。桐生の名物「——うどん」
- 13.人と雑談すること。□数の多いこと
- 14.最近、鯖の——詰めがブームですね
- 15.自分の子が一番なんだから冷静な評価ができなくて当たり前です！
- 17.若いころの体形を——するのは、なかなか大変です
- 18.通称「馬券」。正式名称は「——投票券」
- 20.「——の無いのは良い——」
- 21.何でとる？ 昆布、煮干し、鰹などなど

### ヨコのカギ

- 1.♪でんでんむしむし——
- 5.10円切手の絵柄です。学名「ニッポニア・ニッポン」
- 7.果肉は緑や黄色の——フルーツ。最大の産地は実はイタリア
- 8.ポリフェノール的一种。緑茶に多く含まれる渋みの成分です
- 10.「転ばぬ先の——」
- 12.何かしっくりしないんだよね。「——感をおぼえる」
- 13.船長が、「——いっばーい！」目一杯舵を右にきります
- 16.駐在国において、大使が事務を執る館舎。国際法では、本国の領地と同一
- 18.夏の就寝時に活躍。麻製で部屋の四隅に吊って虫の侵入を防ぎます
- 19.インドネシアを構成する島のひとつ。——島。そんな名前のカレーもあります
- 20.「ピアサポート」とは同じような——にある人によるサポートのこと
- 22.ものごとの価値を決めること
- 23.内閣——。調査する新聞社などにより結構な差が
- 24.南米ペルー共和国の首都

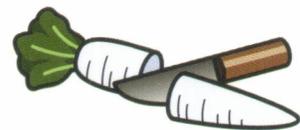
### 〔応募要領〕

- ◆ハガキ裏面に答え、住所、氏名、電話番号を明記してください。
- ◆応募先＝群馬県難病団体連絡協議会（〒371-0843前橋市新前橋町13-12群馬県社会福祉総合センター4F）
- ◆締切＝2019年6月29日（土）
- ◆正解者の中から抽選で4人の方に図書カードを贈呈いたします。

### クロスワードパズル

#### 74号の答え：「和洋折衷」

ジ	ツ	ギ	ヨ	ウ	ダ	ン
ヨ	キ	ヨ	ウ	イ		チ
ウ		ウ		ヒ	ト	ジ
モ	ミ	ジ	オ	ロ	シ	ク
ウ	ズ		ケ	ウ		リ
	シ	ユ		エ	イ	ヨ
タ	ゴ		ワ	ン		カ
コ	ト	ワ	ザ		セ	ン



今回もたくさんのご応募ありがとうございました。正解者の中から4人の方に抽選の上、図書カードをお送りしました。機関紙、クロスワードの感想も委員一同楽しく読ませていただいています！今号へのご応募もお待ちしています。

## 事務局 便り



▼難病対策委員会では、「難病法」見直しに向けた議論が4月から始まる。法律の目的自体の見直しでなく、基本方針や運用の仕方という具体的なものになるという。経過措置終了後認定されず医療費助成無し患者の通院回数が減少。受診抑制は重症化につながる。障害者分野でも難病も他の障害と同じサービスが受けられるよう、患者の思いは伝えていかないと……。

▼「難病の日」記念のつどいが5月19日に県社会福祉総合センター8階大ホールで開催される。難病患者・家族が生じる課題に向き合い誰もが安心して療養できるよう、今現在病気に向き合っている患者の声を社会へ届け、患者会活動への理解を深めることを目的としている▼多くの方々に参加していただける内容にするために実行委員会を開催し検討を重ねている▼昭和50年会報第1号500部発行以来、平成5年まで年1回発行。平成6年より機関紙「群なんれん」を新創刊し、年3回発行のタイムリーな情報紙となった。平成19年からA4判に拡大され、平成29年カラー印刷、写真も豊富に更に見やすくなり、今回が平成最後の機関紙「群なんれん」75号となる。

（大澤記）

編集人 / 前橋市新前橋町1-12 群馬県難病団体連絡協議会 TEL・FAX 027-255-0035 発行人 / 東京都世田谷区祖師谷3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷102号室 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価150円(会費を含む)

# こねこのなるきⅡ No.13

人間の女の子になりたい



## 今後の行事予定

- **第1回「難病の日」記念のつどい**  
と き：5月19日(日) 午後1時~3時30分  
ところ：県社会福祉総合センター
- **群難連第46回定期総会**  
と き：6月23日(日) 午前10時~12時  
ところ：県社会福祉総合センター  
※第46回定期総会は午前のみで開催となります
- **出前「難病よろず相談室」inみなかみ**  
と き：7月21日(日) 午後1時~3時  
ところ：未定

### 難病よろず電話相談室

難病患者の悩みや相談を、  
難病患者の仲間が親切に応じます

**毎月第2・第4日曜日**  
**午後1時~午後4時**  
**TEL 027-255-0035**

個人の秘密は厳守します。  
まずは、気軽にお電話を！

機関紙編集委員の



先日の編集委員の集まりの時、一人の委員のバッグにヘルプマークが提げられていた。お恥ずかしい話だが、「これなあに？」と私は聞いてしまった。「ヘルプマークですよ。前に機関紙にも載ってましたよ。」と他の委員から言われた。文章は、校正するので一字一句目を通すがちゃんと見てなかったのである。

東京都のホームページによると、ヘルプマークとは「義足や人工関節を使用している方、内部障害者や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークとされている。都議会議員の質疑・提案で、東京都が考案、2012年10月からヘルプマークの配布や優先席へのステッカー標示が都営地下鉄大江戸線で開始された。以来、東京から全国へ広がり、群馬県でも一部の市町村で導入を始めている。

まだまだ、認知度が低い(周りの家族や友人に聞いてみた)ヘルプマークを、私も周りの人に伝えていこうと思った。



〈前田〉